

熊本市軟式野球連盟少年部の市大会における事務局からの連絡

2024.2.25 少年部事務局

I 競技運営上の注意事項

(試合前に関する事項)

- 1 降雨等による中止決定は主催者及び審判団の判定による。
前日降雨の場合は主催者で決定する。【熊本市軟式野球連盟】のホームページで当日の6時30分に掲載する。
- 2 監督、コーチは、選手と同一のユニフォームを着用すること。
- 3 背番号は、監督30番、主将10番、コーチ29番、28番とし、選手は0番から99番とする。
- 4 ユニフォームの左袖には都道府県名を必ず付けなければならない。(他のものをつけてはならない。)
- 5 右袖には制限がないのでワッペン、マーク、文字等をつけてもよい。
- 6 投手がリストバンド、サポーターなどを使用することを禁止する。なお、負傷で手首に包帯などを巻く必要があるときは、球審の承諾が必要である。
- 7 チームは試合開始予定時刻の60分前までに試合会場に到着し、直ちに本部席の役員にチーム名を伝え打順表を受け取ること。
- 8 打順表は登録している選手全員を記載すること。
記載されていない者はその試合には出場できない。
- 9 攻守決定を第1試合は開始時刻の30分前に、第2試合以降では学童は前の試合の3回終了時または45分経過後、中学は前の試合の4回終了時または1時間経過後に、本部に監督と主将が打順表(4枚)を提出し、大会申込書と照合ののち、球審立会いのもと行う。
- 10 次の試合の先発バッテリーは、攻守決定後球場内で投球練習をすることができる。
- 11 試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了した後20分で試合を開始する。
試合開始予定時刻になっても会場に来ないチームは原則として棄権とみなす。
- 12 試合前練習のグラウンド使用については、当該試合審判員の指示に従うこと。
特に第1試合のチームのグラウンドの使用や練習(声を出してのランニング等を含む)は、近隣の民家への配慮のために、会場役員または審判員の指示を受けてから開始すること。
- 13 球場内での練習ではフリーバッティングは禁止する。また登録している監督、コーチ、選手以外は練習といえどもグラウンドに入ることはできない。
- 14 練習時に会場の施設を破損した場合は、そのチームで弁償する。
責任を取らないチームは大会出場を禁止する。
- 15 ベンチは組合せ表の若番を一塁側とする。
- 16 ベンチ内でのメガホンは1個に限り使用を認める。
- 17 ベンチに入れる人員は登録されたユニフォームを着用した監督、コーチ、選手9名以上25名以内と、代表者、マネジャー、スコアラー各1名とする。
熱中症対策として保護者2名までベンチに入れることができる。
- 18 用具(金属バット、ヘルメット、マスク(SGマーク入り)、プロテクター、レガース(SGマーク入り))はすべて全日本軟式野球連盟公認のものを使用すること。
捕手は必ずファウルカップを着用すること。

グラブ、ミットの締め紐の部分の長さは、親指の長さ以内とする。

捕手用マスクの SG マークについては、2025(令和7)年シーズンから義務化となる。

(試合中に関する事項)

- 19 控え選手等が準備投球をする場合は、捕手に求められる用具を全て着用していない限り、立って捕球する。(出場している内野手可)
- 20 試合中場外へ出たボールは、1塁側、3塁側ベンチの近いチームで処理すること。
- 21 攻守交代のとき3アウト直後のボールは、守備側選手が必ず投手板上に置くこと。
- 22 イニングの合間(攻守交代の時)の10人目の選手によるキャッチボールは可とする。
- 23 2回以降の内野の転送球は、投手の投球練習直後のみ認める。
- 24 守備が1イニング内で長時間(約20分)にわたった時及び酷暑の場合は約5分間の水分補給タイムを適用する場合がある。(試合時間には入れない)
給水タイム時には選手はベンチ内に入ること。
天候次第では実施しないこともあるので試合前に確認すること。
- 25 少年部、学童部では監督(不在の場合は代行者)のみが、グラウンド内に出て指示を与えることができる。コーチがグラウンド内に出て指示を与えることは許されない。
- 26 試合中の抗議は監督か当該プレーヤーに限る。(審判員の裁定が規則の適用を誤って下されたとき)打球がフェアかファウルか、投球がストライクかボールか、走者がアウトかセーフかという裁定に限らず、審判員の判断に基づく裁定は最終のものであるから、プレーヤー、監督、コーチ、控えのプレーヤーが、その裁定に対して、異議を唱えることはゆるされない。(8.02)
- 27 不正行為の場合は、すべてチーム失格とする。

(試合後に関する事項)

- 28 試合終了後直ちに両チームは全員で内野グラウンドを整備すること。
- 29 ベンチ廻りや応援席付近は必ず清掃すること。

II 試合に関する禁止事項

- 1 危険防止とフェアプレイの観点から極端な前進守備を禁止する。
一塁手及び三塁手は塁間の中間点より前で、二塁手及び遊撃手は投手より前で守備をできないが、投手の手からボールが離れたら前進できる。
- 2 マナーアップとフェアプレイの観点から野手が走者の視野を遮る行為を禁止する。
走者がタッグアップしているとき野手が走者の前に立ち視野を遮る行為
野手が走者の前に立ち、ボールを保持している投手板上の投手への視野を遮る行為
- 3 攻守交代の際に、控え選手がベンチを出て守備練習を見守ることを禁止する。
- 4 投手の準備投球に合わせて、先頭打者、次打者が次打者席で素振りをする以外、他の選手がベンチを出て素振りをするのを禁止する。
- 5 打者が投げ終わった球種を、次打者他に知らせることを禁止する。
- 6 投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手の動揺を誘うような大きな声を発することを禁止する。
- 7 学童部、少年部(女子共)の試合においては、ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を萎縮させるような言動を禁止する。

- 8 試合中紛争等の際に激昂のあまり審判員及び役員又は相手チームに手をかけたら、ただちにその選手及び監督の属するチームは失格とする。(応援団も含む)

なお、そのチームおよび選手は、今後大会への出場は一切認めない。

Ⅲ 保護者の皆様へのお願い

(試合運営協力に関する事項について)

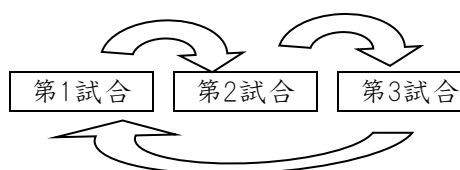
(1 会場設営等について)

- 1 第1試合のチーム…グラウンドの整備とライン引き、本部の机・イス出し
- 2 最終試合のチーム…ベース、ラインカー等の撤収、本部の机・イスの片付け

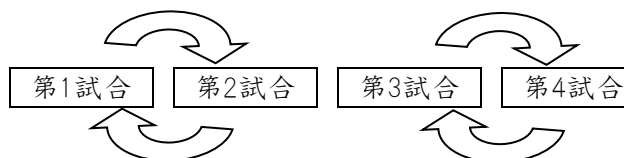
(2 塁審と記録員について)

- 1 学童は4回戦まで、中学生は3回戦まで、各チーム2名の協力をお願いします。
- 2 担当する試合は、自チームの試合会場で、下の図の通りとします。
- 3 説明等を行います。担当する試合の開始予定時刻の30分前には会場入りしてください。

①3試合の場合



②2試合・4試合の場合



(3 投球数確認者の協力について)

全試合、当該チームより各チーム1名の協力をお願いします。

(応援に関する事項)

- 1 会場内の歩道やランニングコース等に物を置いたり、立ち話をするのは、他の利用者の妨げになりますのでしないでください。
- 2 会場(運動公園以外)への車の乗り入れは、原則10台までとします。それ以外の車は、近隣の有料駐車場をご利用ください。また、会場付近の路上駐車はできません。
- 3 駐車場の台数に限りがありますので、試合後は速やかにお帰りください
- 4 応援は選手の激励を旨とし、相手に不快感を与えるような応援はしない。
- 5 球場周辺へ迷惑となるため鳴り物の使用は認めない。
- 6 声をそろえての大声での声援はできない。
- 7 会場(敷地)内は、全面禁煙です。また、場外で喫煙の際も、近隣の民家や歩行者等にも配慮をお願いします。

Ⅳ コロナ感染の予防について

- 1 監督、コーチ、選手が感染した場合は必ず少年部へ連絡してください。
- 2 せき、発熱などの症状のある人は、参加、応援をご遠慮ください。
- 3 選手及びチームスタッフ(監督等)のマスク着用は個人の判断に委ねます。
ただし、持病や熱中症等の対策を考慮して対応ください。
- 4 応援席では、間隔を保ち、拍手等での応援とします。マスクの着用は個人の判断に委ねます。